

6. 日本防火協会からのお知らせ

第7回市町村婦人防火クラブ幹部研修会の開催

婦人防火クラブの新たな組織づくりと既存の組織の育成強化を図るためには、各市町村における優秀なリーダーの存在とその役割が重要です。

そのためには、市町村単位における婦人(女性)防火クラブ幹部の資質向上を図ることとし、各都道府県からリーダーとなる市町村婦人(女性)防火クラブ幹部の参加をもとめて、下記のとおり研修会を開催することとしています。なお、研修内容については、今後、検討していくこととしています。

1. 研修日時 平成16年7月15日(木)13:00から
7月16日(金)15:00まで
2. 研修場所 東京都千代田区平河町2-4-14
ホテル ルポール麹町
TEL 03-3265-5363
3. 研修対象者 全国市町村婦人(女性)防火クラブ幹部
各都道府県2名 計 約100名

[▲ このページの上に戻る](#)

2004年度全国統一防火標語が決定！「火は消した？いつも心にきいてみて」

社団法人日本損害保険協会では、防火意識の啓発を目的として、総務省消防庁との共催で、1966年度から全国統一防火標語の募集を行っています。

2月27日に2004年度の最終選考会を開催した結果、入選作品が北海道の小学3年生、西田ひとみさんの「火は消した？いつも心にきいてみて」に決定しました。

小学生らしい素直な感覚で火災予防を訴えており、特に最初の「火を消した？」が、ソフトでかわいいい呼びかけでありながら、火の始末を訴える力があるところが入選のポイントとなりました。

この標語は、4月から1年間全国統一防火スローガンとして、防火ポスターをはじめ、各種火災予防に使用されます。

◎入選作品(1点)

火は消した？ いつも心に きいてみて
北海道 西田 ひとみさん(9歳)

◎佳作(3点)

火の中に あなたの未来を 捨てないで
千葉県 菅井 優さん(29歳)

慣れっこの 心のスキに まさかの火
長崎県 吉田 理恵さん(44歳)

離れない 電話にでない 消すまでは
大阪府 清水 知美さん(32歳)

応募総数：44,942点

応募作品の特徴：火を取扱う人の自己責任を喚起する作品が圧倒的に多数でした。また、家庭内の防火チェックポイントや地域ぐるみの防災まちづくりをテーマにした作品も多く見られました。

選考委員：北野 大氏(淑徳大学教授・工学博士)

神津 十月氏(エッセイスト・作家)

林 省吾氏(総務省消防庁長官)

松澤 建氏(日本損害保険協会会長)

[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 全国消防防災主管課長会議について](#)
- [2. 平成16年春の叙勲](#)
- [3. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会会長だより](#)
- [4. 地方からの便り](#)
- [5. あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)
6. 日本防火協会からのお知らせ